

小松島市は、東に紀伊水道をのぞみ、西には遍路修行の四国の聖なる山々、勝浦川の流域に開けた平野にあります。中世のころより天然の良港と知られ、江戸期には藩内有数の藍の大商人たちが軒を並べ栄えました。

また平家討伐に向かった源義経の上陸地といい、狸の民話が伝えられる歴史と文化の町です。金長狸をまつる金長神社はスタジオジブリの映画『平成狸合戦ぽんぽこ』やアニメ、コミック、小説などの作品の舞台になり、ファンの巡礼地となっています。



地蔵寺は、弘法大師巡錫の

おり海畔一区の霊場としてひらかれ、天正7年（1579）領主吉成対馬守により境内800歩の免税を受け、慶長以降は藩主蜂須賀家の信仰厚く、近郷在住の人々の信仰の道場として維持されてきました。

地蔵寺の本堂は、足利氏平島公方の館です。阿波の平島公方は、室町幕府11代将軍足利義澄の子、義維（義冬1509～1573）を初代とし、14代将軍義栄は阿波の出自です。文化2年（1805）平島公方9代足利義根は阿波から退去し、その御屋敷の建物の一棟を文化3年に地蔵寺へ移築しました。

武家時代の建築様式が残り、玄関は向拝唐破風で、幅広い「式台」をあげると十畳の広間があります。書院造における「武家玄関構え」です。また本堂客室の「上の間」は、殿様の御殿にしかみられない「本床」が設けられているなど、室町期の様式を伝える「書院造」です。その玄関と書院は徳島県指定有形文化財です。

足利政権興亡の夢を秘めた地

広島県

福山市

福山市は広島県の東端に位置し、南は瀬戸内海に面している人口47万人の都市です。足利氏にとって、最もゆかりの深いまちが福山市です。

後醍醐帝軍に敗れ、瀬戸内海を西に追われていた尊氏は、途中、鞆の浦の小松寺にて、光厳院から「朝敵、新田義貞を滅ぼして天下に平穩をよみがえらせよ」との院宣を受けました。尊氏は元氣百倍し、錦旗を奉じて九州へと向かいました。尊氏が京都を進撃する作戦をたてたのも、この小松寺です。

また、時代は大きく下って、戦国時代の末期織田信長によって京都を追われた15代将軍義昭は、天正4年（1577）

鞆の浦を拠点として勢力の回復を図りました。

このように、足利政権の興亡の夢を秘めた福山市鞆の浦は、何事もなかったように光り輝き人々に親しまれています。



足利政権興亡の夢を秘めた鞆の浦

■行事

- 5月1日～31日 鞆の浦観光綱網
- 5月中旬 福山ばらまつり
- 8月中旬 福山夏まつり

● 福山商工会議所

<https://www.fukuyama.or.jp>

